



秩父市コミュニティ・スクールだより

「地域とともにある学校」を目指して

No.8

コミュニティ・スクールにおける双方向性

コミュニティ・スクールの活動が、従来の地域連携活動と異なることの一つに、

双方向の取組があります。

従来の地域連携活動は、地域による学校への支援・協力活動でした。地域に存在する人的・物的教育資源を学校教育に生かすという視点で行われてきました。

コミュニティ・スクールは、この点を一歩進めて取り組んでいきます。

学校が地域からの支援・協力を受けるとともに、学校が地域に貢献するという立場を明確にし、地域と学校が双方向の取組を行うことにより、地域全体を活性化していくことを目的にしています。

地域・学校双方向の取組を進めるために、地域連携活動は、「地域学校協働活動」として、全国的な広がりを見せています。

大人の学びのすすめ

それでは、双方向の取組として学校が地域にどのような貢献ができるのでしょうか。従来の地域による学校への支援・協力活動においても、児童・生徒が地域の人たちへ感謝の言葉を贈ったり、地域の人も学校の様子を知り、児童・生徒、教職員とのつながりの中で充足感を味わうような、地域に還元できる取組を行ってきました。これからは、双方向の視点を明確にして、従来の活動をより発展させていくことが大切です。

さらに地域の人たちが学校の教育資源（学校の施設や教員の専門性）を活用して学ぶことが可能です。これこそ **大人の学び** です。学びを通して、子どもと大人、大人と大人のつながりができます。また、大人の学ぶ姿を見ることは、子どもにとっての学習意欲につながります。学校の教育資源を活用した取組は、これまでも学校ごとに行われてきましたが、学校の地域への貢献として、大きな可能性があります。より積極的な活用が望まれます。

この「たより」は秩父市の皆様に、「コミュニティ・スクール」を知ってもらうためのものです。

- ☺ 「大人の学び」は地域の誇りを育て、地域の関係を結び直します。
- ☺ 「大人の学び」は子供のビタミン
- ☺ コミュニティ・スクールは大人の生きがいを応援する仕組みです。

上記の言葉は、小西哲也氏（兵庫教育大学大学院教授 CSマイスター）の講演（昨年度埼玉県主催のCS研修会）より引用させていただきました。

学校運営協議会の実施状況

本年度より秩父市内すべての小・中学校がコミュニティ・スクールに移行しました。コミュニティ・スクールの中核となる学校運営協議会も順調に開催されています。

特に10・11月は、第2回・第3回の学校運営協議会を開催する学校が多くあります。各校のホームページ等で確認することができます。またホームページにはコミュニティ・スクールに関する記事も多く掲載されています。



（各校の学校運営協議会の様子 HPより転載させていただきました。）

秩父市教育委員会学校教育課

電話 0494-25-5228 ホームページ <http://www.city.chichibu.lg.jp/1900.html>